

中央図書館企画展示

歴史上の人物列伝 ～良寛の巻～

歴史人物列伝シリーズ第2弾として、
良寛関連の図書を展示します。



良寛(1758年～1831年)は、江戸時代後期の越後(新潟県)出身の禅僧です。歌人、書家としても名高く、質素で無欲な生活を送りながら、子どもを愛し、民衆に親しまれました。

良寛は、生地の新潟県、修行地の岡山県に次いで、群馬県にも深い関りがあります。

江戸時代末期に、「良寛道人遺稿」を刊行して良寛の名を全国的なものにしたのは、前橋の名刹龍海院の藏雲和尚でした。また、刊行に大きな協力をした貞心尼は、大胡城主の家臣の娘でした。

良寛没後、伝記「橘物語」を出したのが、高崎の国学者飯塚久利であるといわれているほか、県内各所に良寛の遺稿や遺墨、貴重な資料等が数多く存在しています。

今なお多くの人々に感動を与え続けている良寛の人柄と芸術性に是非触れてみてください。

場所：中央図書館 展示コーナーB

期間：令和8年1月7日から

令和8年2月20日まで



大天
風上